供在物は土 用及の工地 び存作又 実工 施事 の の区分 影響要因 八七六五四三 二 この表における「影響要因の区分 П 1 この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する景観をいう。 この表において「注目すべき生息地」とは、学術上又は希少性の観点から重要であること、地域の象徴であることその他の理由により注目すべき生息地をいう。 この 建設機械の稼働 (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1) 廃棄物の発生 る一時的な影響造成等の施工によ (3) (2) (1) 資材等の搬出入 工事の実施に関する内容 働設の 事用資材等の搬 存在 形改変及び施設 表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している眺望する場所をいう。 表において「重要な地形及び地質」、 表における「影響要因の区分」は、次に掲げる発電所における一般的な事業の内容を踏まえ区分したものである。は、各欄に掲げる環境要素が、影響要因の区分の項に掲げる各要因により影響を受けるおそれがあるものであることを示す。 表において「粉じん等」とは、粉じん、ばいじん及び自動車の運行及び建設機械の稼働に伴い発生する粒子状物質をいう。 |地又は工作物の存在及び供用に関する内容 境要素の区分 造成等の施工として、樹木の伐採等、掘削、地盤改良、盛土等による敷地、搬入道路の造成、整地を行う。 発電設備から産業廃棄物が発生する。 資材等の搬出入として、定期点検時等の発電用資材等の搬入、従業員の通勤、廃棄物等の処理のための搬出がある。 燃料の種類は、天然ガス(LNGを含む。 )、石炭、石油、副生ガスがある。 建設機械の稼働として、浚渫工事、港湾工事、建築物、工作物等の設置工事(既設工作物の撤去又は廃棄を含む)を行う。 工事用資材等の搬出入として、建築物、工作物等の建築工事に必要な資材の搬出入、工事関係者の通勤、残土、伐採樹木、廃材の搬出を行う。 機械等の稼働として、汽力設備、ガスター ピン設備又は内燃力設備(2以上の組合せを含む。)の運転がある。 排水は、排水処理装置で処理した後に公共用水域に排水する。 地形改変及び施設の存在として、地形改変等を実施し建設された汽力設備、ガスターピン設備又は内燃力設備(2以上の組合せを含む。 排水は、海水冷却方式を採用した場合、取水方式として表層又は深層、放水方式として表層又は水中によるものがある。 稼機働械等の 温排水 排水 排ガス 「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場をいう。 物黄酸 化窒 物素 酸 境の自然的構成要素の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素 子浮 状遊 物粒 大気質 じ石炭粉 大気環境 「重要な種」、「重要な種及び重要な群落」、とは、学術上又は希少性の観点から重要であるものをいう。 等 粉 じ ん 騒音 騒音 振動 振動 れ水 の 汚 化富栄養 水質 り水 の 濁 水環境 水温 質有害物 底質 び流 その他 流向速及 び地重 地形要 質及な び地 地形 質及 の環境 要素を旨として調査、予測及び評価されるべき環境を旨として調査、予測及び評価されるべき環境生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全 る生海 動息域 )を有する。 物すに る生海 植育域 物すに 態け特地系る徴域生づを 生態系 境要素でいるべき環で評価されるべき環の確保を旨 景要並景望主 観なび観点要 眺に資及な 望主源び眺 動れ自主 のの人 活触と 動れ自 動作品 の合然 場いと き環境要素の程度により予測では、の負荷の量 物廃産 廃棄物等 棄業 残土 等果温 ガ室 ス効 炭二素酸

別表第二

(第七条関係